



まちづくりフェスタ

令和5年6月17日(土)
大学祭同日開催

本イベントは、地域と学生をつなぐ地域交流の一環として、企画から運営まで学生スタッフ26名が主体となり、実施しました。当日は、延べ1,200人を超える皆様にご来場いただき、終始大盛況に終わりました。ご協力いただきましたむかわ町、美幌町、藻岩高校の皆さん、ありがとうございました！

地域連携センターが発行しているニューズレター、今回は『特別編』として、6月に札幌大学みらい共創スクエアを会場に開催した「まちづくりフェスタ」の様子を学生がレポートしてくれました。担当するのは経営学専攻2年の山館奈央子さんと甚野菜緒さん。2人が所属する団体「キャリアデザインラボ(CDL)」は、本イベントを開催するにあたり、学生ボランティアの中心となって企画や当日の運営を行ってくれました。



わくわく!! おかしつり~あれ?おかしが何かおかしいぞ??~



本コンテンツは私たちキャリアデザインラボ(CDL)に所属するメンバーが地域のお子様楽しんでいただきたい思いで、企画し、実施しました。1回100円でプールの中にあるガチャ券(ガチャガチャを回せる券)がついたお菓子を磁石のついた釣り竿で釣り上げるもので、ガチャガチャを回して出た券と景品を引換えする特典もつけました。中には、むかわ町から提供いただいた恐竜グッズをゲットするお子様もいらっしゃいました。当日は、想定していた以上の来場で、お菓子や景品が足りなくなり、買い足しするなどのうれしいハプニングはあったものの、事前にシミュレーションをしたり、運営マニュアルを作成したり、準備を入念にしていたことで、大きな問題もなく、終始大盛況に終わることができました。来場者からは「親子で楽しめた」「子どもが楽しそうにしていた」などの感想が寄せられました。

<サポート学生>

- 経済学専攻3年 大野 茜季
- 経済学専攻1年 箕輪 憲人
- 経済学専攻2年 蛭名 舜
- 経営学専攻2年 山館 奈央子
- 経営学専攻2年 甚野 菜緒
- 経営学専攻2年 伊藤 侑華



- 法学専攻2年 岩田 英太郎
- ロシア語専攻2年 吉田 大朗
- 日本語・日本文化専攻2年 行木 咲良
- 経営学専攻1年 小林 桃名実
- 地域共創学群1年 伊達 誠真
- 地域共創学群1年 高橋 華凜
- 地域共創学群1年 精進 菜絆

他、当日参加できなかったメンバーもガチャ券の作成やお菓子のセレクトなど事前準備をサポートしてくれ、皆で作り上げた企画となりました！

実施に向け、学内における企画のプレゼンテーションやリサーチも行いました！



企画のプレゼンテーション

理事長や学長、地域連携センター長など学内の教職員に向け、企画のプレゼンテーションを行い、賛同者より運営資金の支援をいただきました。イベント終了後には、賛同者に向けた報告会を実施しました！



地域の方を対象にリサーチ

令和5年4月29日、サツドラ西岡札幌大前店のスペースで実施したプログラミング講座の参加者を対象におかしつり体験を行い、満足度を高めるため、価格帯の確認やお菓子の内容などニーズの把握に努めました！



STEP 1 ～準備編～



むかわ町と美幌町とオンライン会議を行った際に学生たちから企画の説明を行いました。多方面からアドバイスいただき、試作に改良を重ね、お値段以上の満足度を感じていただけるよう、準備しました。会場に足を運んでもらうための仕掛け作りも、お互いに意見を出し合い決めていきました。

STEP 2 ～当日編～



事前に運営マニュアルを作成していたことで、当日、想定以上の来場でも、落ち着いて対応に当たることができました。企画から運営まで学生だけで取り組むのは今回が初めてでしたが、達成感を得るとともに新たな課題を見つけることができる大変有意義な経験となりました。

経済学専攻3年 大野 茜季さん（おかしつりリーダー）

釣竿の形状や価格、お菓子にかけられる金額などを3カ月ほどかけて考えてきました。私たちが一からイベントを考えたのは初めてで、すんなりと決まることは少なかったですが、その分たくさん考え、いいものを作り上げようと協力してきました。また、必要な経費等は学内でプレゼンテーションを行い、たくさんの方にご支援いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。当日は想定していた以上のお客様に来場いただき、嬉しかったのはもちろんのこと、私たちにとっても非常に有意義な時間になりました。対面の大学祭は初めてでしたので、手探りで準備を進めましたが、途中でお菓子が足りなくなってしまう、追加でお菓子を買に行くなど、臨機応変に対応し、大盛況で終わることができました。本イベントを通して、改善点もありましたが、何よりたくさんの方々にお越しいただいて、楽しんでいただけてよかったです。今後も、地域の方々と交流できるようなイベントを企画していけたらと思います。

市立札幌藻岩高等学校サッカー部 MSP「衣類リサイクルプロジェクト」

MSPとは

M 藻岩(Moiwa) × 南区(Minami-ku)

S 笑顔(Smile) × 持続可能(Sustainable)

P 計画(Project) × 人々が集まる(Platform)



テーマ:リサイクル活動を通じてサッカーを広める



▲ 藻岩高校サッカー部4名が参加!

【活動理念】

回収した古着をリサイクルして、リメイクした新しいサッカー用品を子どもたちに届けることでもっとサッカーを広めたい!

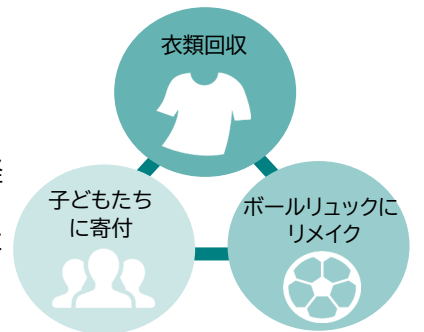


▲ みらい共創スクエアで衣類回収

市立札幌藻岩高等学校サッカー部が課題探究型学習で取り組んでいる「衣類リサイクルプロジェクト」とコラボレーションし、まちづくりフェスタにて実践的なSDGs教育の展開を図りました。高校生たちが本プロジェクトを校外で行うのは今回が初めてで、地域の方に向け、宣伝活動を行うとともに衣類回収の呼びかけをしました。

高校生から「実際にやってみることで集めることの難しさ、これからの課題が見つかり、良い経験になりました」「初めての校外活動だったので緊張していましたが、とても楽しく良い経験になりました」などとの感想があり、本活動を通して、新たな課題と気づきを得る時間だったことが伺えました。

今後も高校と大学の連携を強化し、新たな価値の創造に努めてまいります。



進路指導主事 サッカー部顧問 佐々木 佑季 先生

私たちの活動を広く知っていただく機会となったことや生徒が前向きに活動を知ってもらうためにチラシを配っていたことなど大変有意義な活動でした。また、高校と大学で一緒に何かできる機会があれば、ぜひ一緒にさせていただきたいです。